

令和元年度病虫害発生予察情報 予報第7号（9月）

令和元年9月17日
発表：福島県病虫害防除所

1 果樹

作物名	病虫害名	地方	発生時期	発生量	予報の根拠	防除上注意すべき事項
リンゴ	斑点落葉病	全域	—	平年並	発生ほ場割合は平年並であった(±)。	
	褐斑病	全域	—	やや多い	発生ほ場割合は平年よりやや高かった(+)	晩生種で発生が多い場合には、特別散布する。
	炭疽病	全域	—	やや多い	発生ほ場割合は平年よりやや高かった(+)	発病果は2次伝染源となるため、適切に処分する。
モモ	せん孔細菌病	全域	—	多い	新梢葉での発生ほ場割合は平年よりやや高く(+)、発生程度の高いほ場が多く見られた(+)	剪定や薬剤散布等の秋期防除を徹底して、病原菌の越冬密度低下を図る。 (注意報第2号参照)
ナシ	黒星病	中通り 浜通り	— —	やや多い やや少ない	①新梢葉での発生ほ場割合は、中通りで平年よりやや高く(+)、浜通りでは平年よりやや低かった(-)。 ②果実での発生ほ場割合は、中通りで平年よりやや高く(+)、浜通りで平年よりやや低かった(-)。	秋期防除や落葉処理等を徹底して、病原菌の越冬密度低下を図る。 (注意報第3号参照)
果樹共通 (中通り: リンゴ ナシ モモ 会津: リンゴ 浜通り: ナシ)	ハマキムシ類	全域	—	平年並	リンゴ、モモ、ナシともに新梢葉での被害ほ場割合は平年並であった(±)。	
	ハダニ類	中通り 会津 浜通り	— — —	平年並 やや多い やや多い	①中通りの寄生ほ場割合は平年並であった(±)。 ②会津、浜通りでの寄生ほ場割合は平年よりやや高く、一部のほ場では寄生程度も高かった。(+)。	発生が多いほ場では、防除暦に従って、翌年の発芽前に防除薬剤を散布する。

注) 予報の根拠の中で (+) は多発要因、(-) は少発要因、(±) は平年並要因であることを示す。

より詳しい発生状況や防除対策は、福島県病虫害防除所ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> を御覧ください。

お問い合わせは TEL024-958-1709、FAX024-958-1727 または e-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp へお願いします。